

生物多様性ふるさと川西戦略(改訂案)に係る

意見提出手続結果

- 1 意見募集期間 : 令和5年10月26日(木)～令和5年11月24日(金)
- 2 意見提出人数 : 4人
- 3 意見提出件数 : 19件
- 4 提出意見については別紙のとおりです。
お寄せいただいた意見は、それぞれの項目に分類し記載しています。
ただし、個人等が特定される箇所や内容が募集対象に合致しない意見については、記載していない場合があります。
- 5 意見提出者の氏名については、個人が特定されないことがないよう、
A～Dのアルファベット表記に変えて「提出者欄」に記載しています。

| 意見番号 | 意見の分類 (該当のページ、項目など) | 意見の内容 | 市の検討結果 | 提出者 |
|------|--|--|---|-----|
| 1 | 【2ページ】 第1章 「生物多様性ふるさと川西戦略」策定の目的と位置づけ | 川西市として菊炭、一庫炭、池田炭の呼び方表記を統一して欲しい ・P2 川西市には、茶道用高級道具炭である菊炭（一庫炭や池田炭とも呼ばれています） | ●戦略案を修正します。 (内容) 菊炭（一庫炭・池田炭）に記載を統一します。 | C |
| 2 | 【5ページ】 第1章 「生物多様性ふるさと川西戦略」策定の目的と位置づけ | 川西市として菊炭、一庫炭、池田炭の呼び方表記を統一して欲しい ・P5かつては、川西の北部では広大な面積で菊炭※（一庫炭・池田炭とも呼ばれています） | ●戦略案を修正します。 (内容) 菊炭（一庫炭・池田炭）に記載を統一します。 | C |
| 3 | 【20ページ】 第2章 川西市の生物多様性の現状と課題 | 川西市として菊炭、一庫炭、池田炭の呼び方表記を統一して欲しい ・P20◇特徴：川西市北部の黒川は一庫炭の生産のためのクヌギ林 ・P20【文化性】今でも利用されている全国的に貴重な里山（例：一庫炭） | ●戦略案を修正します。 (内容) 菊炭（一庫炭・池田炭）に記載を統一します。 | C |
| 4 | 【23ページ】 第2章 川西市の生物多様性の現状と課題 | P23：「一方、知明湖ではブラックバスやコクチバス、ブルーギル、猪名川河川敷ではアレチウリなど特定外来生物も確認されています。」についてです。「ブラックバス」はオオクチバスとコクチバスの通称です。つまり、ブラックバスは種名ではありませんので、「ブラックバスやブルーギル」もしくは「オオクチバスやコクチバス、ブルーギル」という表記が適切です。コクチバスは全国的に拡大している要注目種でもあるため、後者に修正いただきたいと思えます。 | ●戦略案を修正します。 (内容) 「オオクチバスやコクチバス、ブルーギル」に記載を変更します。 | A |
| 5 | 【28ページ】 第2章 川西市の生物多様性の現状と課題 | p28のブラックバス写真はオオクチバスです。 | ●戦略案を修正します。 (内容) 写真の記載をオオクチバスに変更します。 | A |
| 6 | 【29ページ】 第2章 川西市の生物多様性の現状と課題 | それと、「アカミミガメ」もアカミミガメ属であって、猪名川に生息しているアカミミガメはミシシippアカミミガメです。アカミミガメには3種が含まれており、キバラガメが稀に捕獲されますが、カンバーランドキミミガメは生息していません。p29の写真はミシシippアカミミガメを指しています。 | ●戦略案を修正します。 (内容) 写真の記載をミシシippアカミミガメに変更します。 | A |
| 7 | 【31ページ】 第2章 川西市の生物多様性の現状と課題 | 川西市として菊炭、一庫炭、池田炭の呼び方表記を統一して欲しい ・P31ここで生産される炭は、菊炭（一庫炭・池田炭）と呼ばれ ・P31写真は菊炭と表記 | ●戦略案を修正します。 (内容) 菊炭（一庫炭・池田炭）に記載を統一します。 | C |
| 8 | 【33ページ】 第2章 川西市の生物多様性の現状と課題 | 川西市として菊炭、一庫炭、池田炭の呼び方表記を統一して欲しい ・P33の里山や菊炭（一庫炭・池田炭）を守るための森林ボランティア | ●戦略案を修正します。 (内容) 菊炭（一庫炭・池田炭）に記載を統一します。 | C |
| 9 | 【34ページ】 第2章 川西市の生物多様性の現状と課題 | 川西市として菊炭、一庫炭、池田炭の呼び方表記を統一して欲しい ・P34一庫炭生産体制の形成 | ●戦略案を修正します。 (内容) 菊炭（一庫炭・池田炭）に記載を統一します。 | C |
| 10 | 【43ページ】 第2章 川西市の生物多様性の現状と課題 | 川西市として菊炭、一庫炭、池田炭の呼び方表記を統一して欲しい ・P43【シンボル（農産業）】イチジク、クリ（銀寄）、モモ、一庫炭 ・P43◇戦略作成上の留意点：認知度の低い内容については、日本一の里山や一庫炭と関連付けて | ●戦略案を修正します。 (内容) 菊炭（一庫炭・池田炭）に記載を統一します。 | C |

| 意見番号 | 意見の分類 (該当のページ、項目など) | 意見の内容 | 市の検討結果 | 提出者 |
|------|-----------------------------------|--|---|-----|
| 11 | 【47ページ】 第2章 川西市の生物多様性の現状と課題 | 戦略作成上の留意点に書かれている参加の課題はスピード感をもって具体的に示してほしい。市街地に住んでいて里山保全活動に参加意欲があっても情報が無い、参加につながらない。小学生の活動は定着している一方でその親世代の関心、参加意欲が少ないのは課題。せっかくの体験が親子でつながっていくような仕組み等を検討してはどうか。 | ●戦略案は原案のままとします。 (内容) 計画の内容ではなく、計画に基づく取り組みについての意見・提案のため戦略案は原案のままとしますが、取り組みを進めるうえでの参考とさせていただきます。 | C |
| 12 | 【56ページ】 第2章 川西市の生物多様性の現状と課題 | 川西市として菊炭、一庫炭、池田炭の呼び方表記を統一して欲しい ・P56◇広報：人の営みによる一庫炭、台場クヌギ、日本一の里山というつながりの啓発など。 | ●戦略案を修正します。 (内容) 菊炭(一庫炭・池田炭)に記載を統一します。 | C |
| 13 | 【66ページ】 第2章 川西市の生物多様性の現状と課題 | 「川西市における生物多様性の現状や守るべき 自然の詳細な情報が不足していることも課題です。」に関して例えば直近のメダカやドジョウの生態分布を示してもらって生態確認調査を多くの人で実施し現状を知って保全していく。定期的に調査して生物多様性がどう変化しているのか見える化して市民と共有して関心を持ち続けるような取り組みをしてはどうか。里山林の保全は保全方針など基本知識も必要であると思うが、猪名川の外来種アレチウリやオオキンケイギクを伐採することは参加しやすいと思うので定期的に近所の公園清掃のように多くの人を集めて実施することにより生物多様性に関心を持つようになると思う。猪名川保全の名物活動にしていく。市街地で接する自然は猪名川だと思います。猪名川は里山から南部下流域までつながっています。市街地が参加等関心が高いとのアンケート結果もある。市街地にあるキセラせせらぎ公園の小川の自然をもっと有効活用して生物多様性を感じる。生物多様性と反するが、黒川から移植したエドヒガンや台場クヌギを正しく知るよう工夫しショールーム的に活用して市街地から里山を繋ぐことを目指して活動、情報発信をしていくこともできると思います。既存の市民団体と協力しながら参加者を増やし市街地の小学生がキセラにあるエドヒガンから苗を作り植樹していくことで思い出に残る生物多様性を実践してみるなどすれば多くの人の関心が集まると思います。キセラ公園で家庭生ごみからコンポスト、ごみを減らして肥料化して植物を育てる循環の輪をもっと大きくするなど日常生活でできることが生物多様性につながることをみんなで実践する。関心を高めていく具体的市民総参加の活動を市役所から発信して、市民みんなで活動しそれがどのように生物多様性や環境保全に繋がっているか共有しながら次世代につなげていく持続可能な循環を今から作っていききたい。 | ●戦略案は原案のままとします。 (内容) 計画の内容ではなく、計画に基づく取り組みについての意見・提案のため戦略案は原案のままとしますが、取り組みを進めるうえでの参考とさせていただきます。 | C |
| 14 | 【77ページ】 第4章 行動計画 | 【2.基本戦略に基づく行動計画】(P.77～)に関する意見 基本戦略に基づきさまざまな戦略の進捗を確認する指標が記載されていますが、どの指標にも現在の状況を確認する数値の記載がありません。 例えば、「各環境教育を受けた1年間の人数」(P.77)であれば、市内児童数に占める昨年実施した教育を受けた人数の割合などです。 計画の指標であれば、現状と目標とのギャップを数値化して1年後に活動を振り返る際の根拠となる数値が必要なのではないかと思えます。進捗を確認すると記載されていますが、確認の根拠となる数値が示されていないため指標とは言い難いのではないのでしょうか。 | ●戦略案では原案のままとします。 (内容) 生物多様性ふるさと川西戦略は市民・事業者や団体・市で方向性を共有するための計画となりますので、生物多様性ふるさと川西戦略に記載の指標に関しては、何を指標とするのかということに記載しております。 また、進捗の確認(指標の数値)に関しては、毎年、指標の数値や成果と課題等に関して担当所管課に確認し、取りまとめたものを「生物多様性ふるさと川西推進委員会(P85に記載)」に提出し、進捗状況のチェック、評価及び修正案を検討いただくことになっており、意見や助言をいただきます。この「生物多様性ふるさと川西推進委員会」は公開で行われており、議事録についてもホームページ等で公開となります。現戦略の第1期(前期)の進捗状況調査(総括)(令和3年度分までの成果と課題、今後の方向性をまとめたもの)が確認可能となっております。 最後に、今回は、生物多様性ふるさと川西戦略の一部改訂(時点修正等)となりますので、現行計画の考え方や記載方法については現戦略から変更しておりません。現戦略の期間が満了し、新たな戦略を策定する際には、指標のあり方も含め、記載等に関して検討させていただきます。 | D |
| 15 | 【80ページ】 第4章 行動計画 | 【2.基本戦略に基づく行動計画】(P.80～)に関する意見 基本戦略に基づきさまざまな戦略の進捗を確認する指標が記載されていますが、どの指標にも現在の状況を確認する数値の記載がありません。 「指定・登録文化財(天然記念物)の件数」(P.80)であれば現在の件数などです。 計画の指標であれば、現状と目標とのギャップを数値化して1年後に活動を振り返る際の根拠となる数値が必要なのではないかと思えます。進捗を確認すると記載されていますが、確認の根拠となる数値が示されていないため指標とは言い難いのではないのでしょうか。 | ●戦略案では原案のままとします。 (内容) 生物多様性ふるさと川西戦略は市民・事業者や団体・市で方向性を共有するための計画となりますので、生物多様性ふるさと川西戦略に記載の指標に関しては、何を指標とするのかということに記載しております。 また、進捗の確認(指標の数値)に関しては、毎年、指標の数値や成果と課題等に関して担当所管課に確認し、取りまとめたものを「生物多様性ふるさと川西推進委員会(P85に記載)」に提出し、進捗状況のチェック、評価及び修正案を検討いただくことになっており、意見や助言をいただきます。この「生物多様性ふるさと川西推進委員会」は公開で行われており、議事録についてもホームページ等で公開となります。現戦略の第1期(前期)の進捗状況調査(総括)(令和3年度分までの成果と課題、今後の方向性をまとめたもの)が確認可能となっております。 最後に、今回は、生物多様性ふるさと川西戦略の一部改訂(時点修正等)となりますので、現行計画の考え方や記載方法については現戦略から変更しておりません。現戦略の期間が満了し、新たな戦略を策定する際には、指標のあり方も含め、記載等に関して検討させていただきます。 | D |

| 意見 番号 | 意見の分類 (該当のページ、項目など) | 意見の内容 | 市の検討結果 | 提出者 |
|----------|-----------------------------|--|--|-----|
| 16 | 【81ページ】 第4章 行動計画 | 「③施策名称：【外来生物対策】・担当部署【市民環境部】(P.81)の文面には、クビアカツヤカミキリの被害拡大が懸念される、とあります。新たな被害が想定されるのであれば新たな指標を設け、計画を立て行動することが必要になるとは思いますが、指標にすら挙げておられません。これでは前年踏襲の指標に基づく行動しか行われたいのと同じかと思えませんが、指標が減ったり増えたり変化するものだと思いますがそのような考えはなさらないのでしょうか。 | ●戦略案では原案のままとします。 (内容) 生物多様性ふるさと川西戦略は市民・事業者や団体・市で方向性を共有するための計画となりますので、生物多様性ふるさと川西戦略に記載の指標に関しては、何を指標とするのかということに記載しております。 また、進捗の確認(指標の数値)に関しては、毎年、指標の数値や成果と課題等に関して担当所管課に確認し、取りまとめたものを「生物多様性ふるさと川西推進委員会(P85に記載)」に提出し、進捗状況のチェック、評価及び修正案を検討いただくことになっており、意見や助言をいただきます。この「生物多様性ふるさと川西推進委員会」は公開で行われており、議事録についてもホームページ等で公開となります。現戦略の第1期(前期)の進捗状況調査(総括)(令和3年度分までの成果と課題、今後の方向性をまとめたもの)が確認可能となっております。 最後に、今回は、生物多様性ふるさと川西戦略の一部改訂(時点修正等)となりますので、現行計画の考え方や記載方法については現戦略から変更していません。現戦略の期間が満了し、新たな戦略を策定する際には、指標のあり方も含め、記載等に関して検討させていただきます。 | D |
| 17 | 【86ページ】 第5章 推進体制と進行管理 | 【2.進行管理】(P.86)に関する意見 ＜表11 「生物多様性ふるさと川西戦略」進行管理計画＞について 上述した指標についてです。2022年度に市民向けアンケートを実施され認知度や達成度を評価し、内容や評価基準の見直しをされました。その見直しが生物多様性ふるさと川西戦略(改訂案)に該当すると思いますが、2015年当時に設定された指標は見直されないまま2024年度以降も同じ指標で計画し行動されるということでしょうか。としますと、10年近く前に設定された指標に基づいた計画と行動を延々繰り返すだけで、この10年の間に発生が懸念される新たな事象に対する計画とその行動を行っておられないということになるのではないのでしょうか。 仮に2015年当時に設定された指標のうち目標に達した指標があるのであれば、欄外に達成された指標の項目を設け、周知するように努めていただくのが良いと思います。 | ●戦略案では原案のままとします。 (内容) 川西市の重要な生態系・特徴的な自然環境を広く市民に知っていただくことも戦略の重要な役割です。また、川西市総動員で生物多様性を守り、育み、共生するまちづくりを進めていくためにはなるべく詳細に記載していきます。ただし、乱獲を行うなど、一部の心無い行動を行う方への懸念は一理あり、今後、保護や戦略案記載の方法などについて研究・検討して参ります。 | D |
| 18 | 【124ページ】 資料編 | p124の市街地水路の記述についてです。概要の通り、希少な二枚貝の繁殖地・生息地であります。公表し保全を進めることは重要ですが、具体的な対策は行政・市民活動において皆無です。公表するならば保護区域として一般人の立ち入り禁止や看板を設置するなどの対応をお願いします。公表するという事は、誰でも情報を知り得ることです。高価に取引される貴重な二枚貝の公表を継続し乱獲の被害に遭っては、どのように責任を取られるのでしょうか。p121の「猪名川流域のオオサンショウウオ」というように、生息地を曖昧にできないでしょうか。以上よろしくお願ひします。 | ●戦略案では原案のままとします。 (内容) 川西市の重要な生態系・特徴的な自然環境を広く市民に知っていただくことも戦略の重要な役割です。また、川西市総動員で生物多様性を守り、育み、共生するまちづくりを進めていくためにはなるべく詳細に記載していきます。ただし、乱獲を行うなど、一部の心無い行動を行う方への懸念は一理あり、今後、保護や戦略案記載の方法などについて研究・検討して参ります。 | A |
| 19 | 戦略全般 | そもそもこの計画の必要性は？ 生物が多様でないといけない理由は？ 生物って市境を守りますか？川西市単独でこのような計画を作る意味ありますか？ こんな計画作るために毎日遅くまで働く暇があるならもっとやるべき仕事ありませんか？ 市役所が具体的にこの戦略を守るために、ヒトモノカネを費やして活動してはいることはありますか？ | ●戦略案では原案のままとします。 (内容) 計画の記載内容に関するものでないため記載内容の変更は行いません。なお、生物多様性基本法の中で「市町村は生物多様性地域戦略を定めるよう努めなければならない」と定められており、これに基づき本戦略を策定しているものであります。「生物多様性ふるさと川西戦略」の目的はP2に記載しておりますが、「川西市のすばらしい自然と文化のもとになる生物多様性を次世代に引き継ぎ、持続的に利用することとしており、私たちのふるさとである川西に誇りと愛着を持って、自然や文化、生物多様性への理解を深め、川西市総動員で生物多様性を守り、育み、共生するまちづくりを進めていくために取るべき行動について記載しております。また、生物多様性の必要性についてはP7(3)生物多様性の大切さ～生物多様性を守る4つの意味～」に記載しております。 | B |